

大神突機密第四三号の三

昭和 20 年 5 月 14 日



大神回天基地資料

- ・ 本資料は大神突機密第四三号の三をタイプして、一部を追記したものです。
- ・ この資料作成にあたり何度も見直していますが、間違いがあるかもしれませんので、本資料の副次的なものとして扱ってください。
- ・ この資料の著作権は JARIN に帰属します。
- ・ 本資料を取り扱ったことによる損害等に関して、こちらは一切関知しませんので、ご了承ください。

光突撃隊
光●大津島分遣隊長殿
大神突機密第43号の3 5月14日送付

昭和20年5月13日 庶務主任(印)
大神突撃隊司令

第二特攻戦隊参謀殿

回天整備員に関する件照会

当隊回天整備員の配員に就ては差当り(訓練開始前後)別紙事項御考慮の上実施方可然取計相成度
追て整備員の配分の如きは某基地整備長より当隊整備長宛私信の如きものに依り実施することなく
戦隊命令を以て実施するを可と愚考仕候

(終)

(別紙添)

【別紙】

1. 当隊整備員の現状

◎准士官以上

要項	経験有	経験無	記事
特務士官	0	2	特務大尉1名は整備長代理
予備士官	0	2	回天四型に対して経験はあるも一型改一は無経験
准士官	3	0	
計	7		

◎下士官・兵

要項	経験有	経験無	記事
高水	下士官	7	経験有の内6名は二等下士官にして班長不適 官階及技量上班長たり得ず
	兵	4	
普水	下士官	4	2
	兵	65	159
普整・兵	0	20	
計	262		

2. 准士官以上7名なるも内特務大尉1名は整備長代理、予備士官の内1名は隊附、特務中尉1名は掌水雷長、兵曹長の内1名は掌特攻長、1名は人事分隊士にして各掌整備長勤務不可能なるを以て現在掌整備長の至急配員を要す

3. 下士官兵現在員262名中下士官14名、兵248名にして回天整備に必要となる下士官及兵の比率は極めて不均衡なり。少くとも下士官対兵の比を約40%とするを要す

4. 高水の兵は班長として不適なり

5. 普水及普整兵244名中有経験者65名居るも何れも作業能率良好ならざるものの転入にして244名の殆んど全部は回天整備に直接間に合はずと言ふも過言に非ざる現状なり

6. 以上を総合し左の人員を絶体必要とす(16基調整内戦備5基)

◎准士官以上

掌整備長有経験者10名

◎下士官

班長及各部部長となるべき下士官18名

其の他の下士官10名

◎兵

251名

7. 従来僚隊より整備員転入の状況を鑑み当隊整備員の素質低下防止及訓練即応上掌整備長を首班とする建制一箇班を其の儘転入せしむるを絶体必要とす

8. 当隊在隊中の未教育者は逐次僚隊にて收容教育の必要あり

(終)

特務士官・兵から叩きあげ
予備士官・予備学生出身の士官
准士官・下士官の上、兵曹長
経験・回天整備経験者

高水・水雷学校高等科練習生修了者
普水・水雷学校普通科練習生修了者
兵は兵長
普整・航空機整備普通科練習生修了者